

研究機関：広島大学

研究課題名	大腸腫瘍拾い上げにおけるAI（人工知能）画像診断システムの有用性実証試験
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎
研究期間	実施許可日 ～ 2025年12月31日
対象者	2023年1月1日から2023年3月31日の間に、広島大学病院内視鏡診療科において、AI画像診断システム併用下で大腸内視鏡検査を受けられた患者さんのうち、検査日から遡って36ヶ月以内に2回以上の大腸内視鏡検査歴のある患者さん。
意義・目的	近年、大腸内視鏡検査においては腫瘍の発見をサポートするAI画像診断システムが実用化されています。一方で、このシステムは現状では広く普及しておらず、このシステムを使用することで発見された腫瘍が大腸癌の罹患率や死亡率を低下させるか、十分な費用対効果が得られるかなどといった点に関しては十分検証されていません。今回、定期的な大腸内視鏡検査歴のある患者さんに対するAI画像診断システムの有用性を検討するため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は、年齢、性別、大腸内視鏡検査歴、検査時間、病変の個数、部位、肉眼型、大きさなどです。なお、個人を特定可能な情報は解析に用いません
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5939 広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎